



# 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正治

## 第6回 カーボンニュートラルに必要とされる 建築分野の対応

### 2021年8月26日 (木) 18:00-20:00

夏季6回の連続セミナーの最終回となります。夏季セミナーは住宅に焦点をあてた内容でしたが、このあと計画される秋季連続セミナーは、一般建築および全般をテーマとした内容となる予定です。田辺先生は日本建築学会会長として、また国等の委員会にも多数参加され、4月からの第1回～第6回「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」では「あり方・進め方」のまとめ作成に座長として尽力されました。時期を同じくして、国のエネルギー基本計画（素案）の発表、8/9のIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の発表などがあり、住宅に限らない全般のお話を田辺先生から伺います。昨年10月の国の脱炭素社会宣言以後の次元の異なる大きな変化について、1年を経てもなお、建築関係者全体に伝わっているとは言えない状況です。その対応について、資源や自然エネルギーに恵まれているとは言えない我が国がどのようにするのが問われています。我が国におけるエネルギー革命の進め方、誰も取り残されないような進め方について最前線からのお話を伺います。



#### 田辺新一 Shinichi Tanabe 早稲田大学創造理工学部建築学科 教授

1958年 福岡県生まれ  
1982年 早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学大学院修了  
1984-86年 デンマーク工科大学研究員  
1992-93年 カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員  
1992-99年 お茶の水女子大学助教授  
1999年 早稲田大学理工学部建築学科助教授  
2001年 同大学教授

<役職>日本建築学会会長、日本学術会議  
会員、経済産業省資源エネルギー庁基本政策  
分科会委員、同省エネルギー小委員会委員  
長、脱炭素社会に向けた住宅・建築物の  
省エネ対策等のあり方検討会座長。  
<著書>「住環境再考」「ゼロ・エネルギー  
ハウス」(萌文社)など

会 場：オンライン／ZOOM Webinar  
定 員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可  
参 加 費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去の回で申込済の方は重複の必要はありません

<注意事項>・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。  
例：山田花子/漢字等日本語  
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。  
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。  
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。  
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

<接 続 > 当日17:30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード



<これまでの開催>

- ・第1回：7/8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
- ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
- ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画・実施協力：JIA環境会議  
<問い合わせ先> 公益社団法人 日本建築家協会 本部事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
E-Mail：[cns@jia.or.jp](mailto:cns@jia.or.jp) HP：<http://www.jia.or.jp>